

unlimited ~無限大~

1年B組 学級通信 NO.38

クリーン作戦決行！！



期末テストが終わってからクリーン作戦を行いました。1Bが担当したのは、グラウンドの鉄棒付近でした。その場所には雑草が生い茂っており、2人以上で協力して草を抜いている子もいました。まるで絵本の「おおきなかぶ」を連想させるように草をぬいて、尻もちをついて痛くても楽しそうな様子でした。環境整備委員の後藤優貴さんと鈴木悠介さんがゴミ袋にみんながとった草を集めて、片付けをしてくれました。全部の草は取りきれませんでしたが、ゴミ袋7枚を草でいっぱいにすることができました。みんなで協力して活動することができました。テストが終わるまで多くの子が勉強するために机に向かっていたと思いますが、クリーン作戦に積極的に参加できました。中には、「汗を流してダイエットになるから」と別の目的をもった女の子もいました。目的はともあれ私たちが普段使っている学校をキレイにすることは気持ちが良いことですね。最近、話題になった以下のニュースを知っていますか？



W杯の観戦でごみ拾いから広がる輪

「日本を見習う」とブラジル人もサッカーのワールドカップブラジル大会で、日本人が始めた競技場でのごみ拾いが、ブラジル人サポーターなどの間にも広まっている。「日本人を見習うべきだ」。ピッチ外の「日本代表」が存在感を示している。北東部ナタルで19日に行われた日本対ギリシャ戦。試合後、競技場では日本人サポーターに交じり、ブラジル人の観戦客もごみ拾いに参加した。参加者の一人は地元メディアに、「ほんのちょっとした行為で、とても素晴らしい気持ちになる。」と語った。ブラジルでは14日の日本代表の初戦後、日本人サポーターが持参したゴミ袋を手に、スタンドに残されたコップなどを拾う光景がインターネットで話題になった。ニュースを伝えるサイトには650件以上のコメントが書き込まれ、日本は試合で負けたが、「観客席でチャンピオンになった」といった声が上がった。地元メディアは17日、リオデジャネイロの海岸でドイツ人らがごみ拾いをしたと報じ、「日本人のお手本がブラジルで広がっている」と伝えた。

引用：時事ドットコム



美德をもった日本人の存在は、クリーン作戦のような教育からきているのかもしれませんが。使った人が片づけるのが当たり前であるという考えです。それを見た外国人の方も真似をしようと思うところも素晴らしいことだと思います。日本のサポーターも立派な日本代表だと言えるでしょう。